

夜間中学入学希望調査（本調査）結果

（調査期間：令和5年4月20日～令和5年6月20日）

令和5年6月21日

福島市教育委員会

1 調査の概要

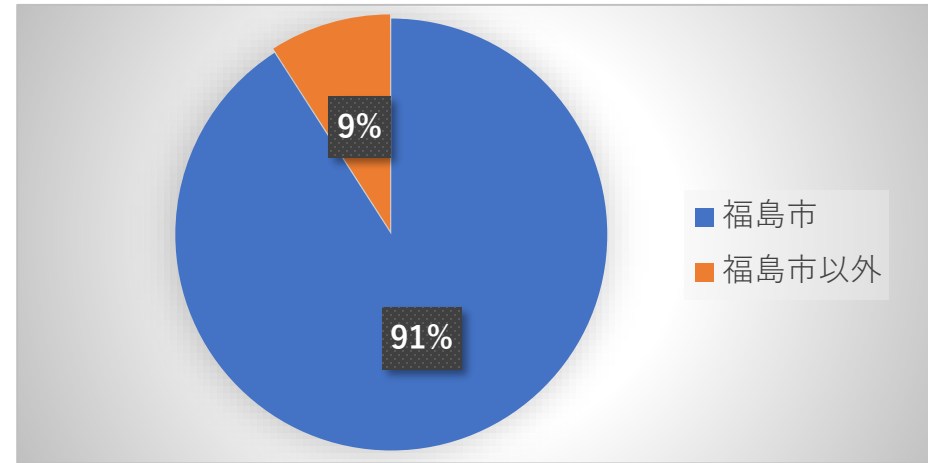
目的	令和6年4月に本市に設置される公立夜間中学に入学を希望している方についての情報を収集し、個別のニーズを把握することで、生徒の年齢・経験等の実情に応じた教育課程の編成を円滑に進める。
実施期間	令和5年4月20日～令和5年6月20日
調査内容	(1) 名前 (2) 住所 (3) 電話番号 (4) 生年月日 (5) 国籍【母国語】 (6) 義務教育の卒業について(選択肢) (7) 不安や心配事(自由記述)
提出方法	(1) 電話 (2) 学校教育課または各支所窓口に直接提出 (3) 福島市オンライン申請 (4) FAX (5) 郵送
チラシ (調査用紙) の配布	<ul style="list-style-type: none">■ 市のホームページ■ 支所、学習センター、関連施設、ハローワーク、日本語教室■ 県北地区各教育委員会■ 市包括協定企業(市内のヨークベニマル、郵便局、東邦銀行、イオン、イトーヨーカ堂)■ 外国人連絡フォーラム会員企業■ 夜間中学関係者など <p style="text-align: right;">246か所に11, 223枚配布</p>
多言語対応	日本語版に加え、英語版、中国語版、韓国語版を作成 <ul style="list-style-type: none">■ ホームページに掲載■ 市国際交流協会を通じて配布

2 調査結果及び考察

(1) 回答数 22名

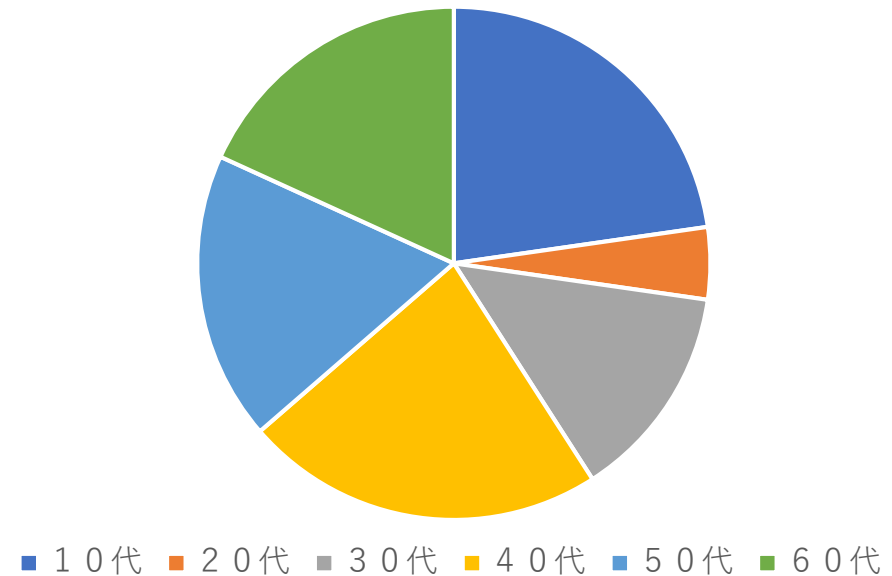
(2) 居住地

- ・福島市在住の方が20名（約9割）
- ・市外在住の方は2名



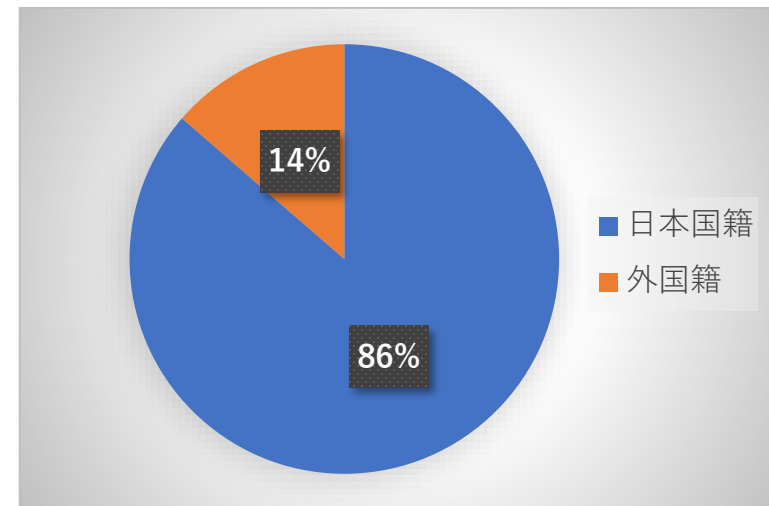
(3) 年齢

- ・10代から60代までの幅広い年齢層の方が、夜間中学への入学を検討している。



(4) 国籍

- ・日本国籍の方が多いが、外国籍の方の回答もあり、国際色豊かである。



(5) 考察

様々な年齢、国籍、就学履歴の方からの回答があり、多様な学びのニーズに応える教育体制の確立が求められる。

【教育支援の例】

- ・教科担任以外に、学習支援を行う教員を配置する、いわゆるティーム・ティーチングを実施する。
- ・教科によっては、小学校段階の内容の一部を取り扱う。
- ・学力差が大きい場合は、習熟度別に分けて授業を実施する。
- ・定期的な教育相談を一般の中学校より多く設定し、生徒が悩みや不安を相談しやすい環境を整える。また、日常的に相談できる体制を構築する。